

S REPORT サステナブルレポート No.60

レジ袋有料化に伴う 供給者の動向予測

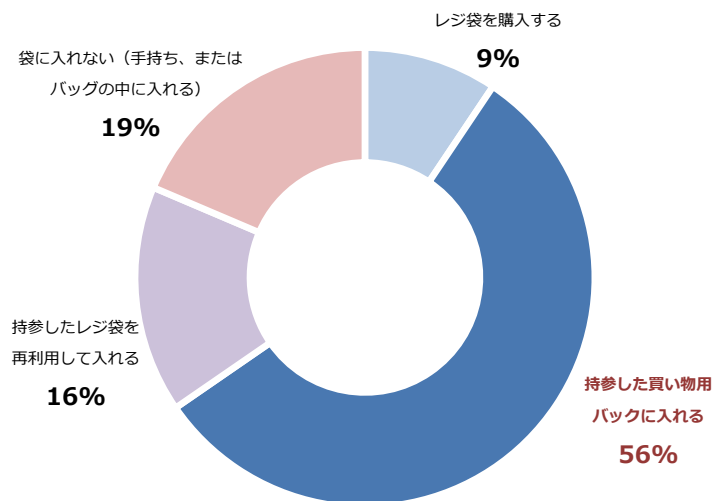
再資源化

リサイクル

■ 意識調査結果トピックス

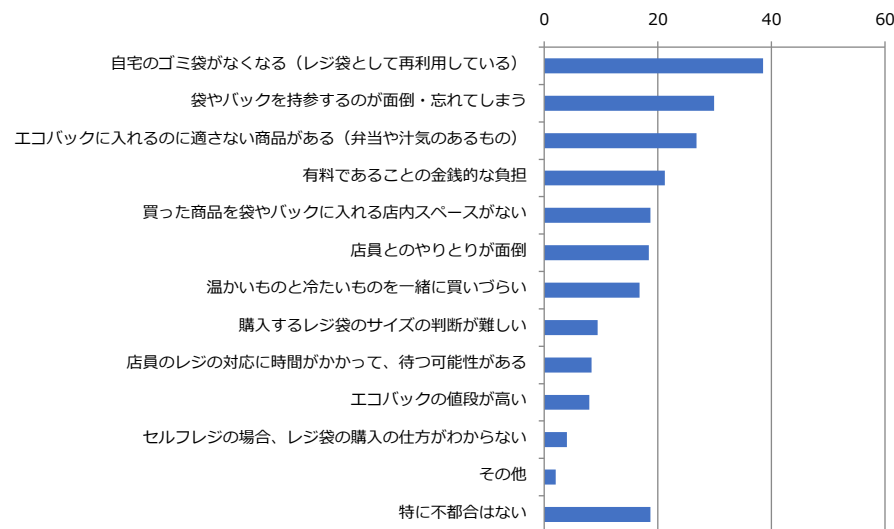
- 経済省のレジ袋チャレンジの目標「2020年12月時点で店頭でレジ袋をもらわない人の割合を **6割**に！」
に対して公表されているアンケート調査では**5割以上**と概ね順調
- 有料レジ袋を利用しない人の**7割以上**はプラスチック削減に貢献
- 有料化の影響でレジ袋の再利用がなくなりコストや手間が増えている

■ レジ袋有料化スタートどう持ち帰る？



持参した買い物用バック（エコバッグ等）に入れる」が56.0%と最多。「袋に入らず、手持ちやバックの中に入れる」人は2割弱。店側で用意した「レジ袋を購入する」人は1割弱に留まった。

■ レジ袋が有料化されたことで不都合に思うこと



コンビニ利用に関わらず、レジ袋が有料化されたことで不都合に思うことのトップ3は、「自宅のゴミ袋がなくなる」、「袋やバックを持参するのが面倒・忘れてしまう」、「エコバックに入れるのに適さない商品がある」。

出典：株式会社クロス・マーケティング、全国20歳～69歳の男女を対象としたアンケート調査を元に筆者作成、2020年7月9日

一方で、供給者は様々なタスクを抱えている

■ サティスファクトリーの顧客からの声

- 「店舗から自社の倉庫への無料レジ袋の回収や廃棄処分をしました」（量販店）
- 「有料化の対象とならないバイオマス素材配合のレジ袋を使うことで、無料で配布を続ける運用にしました」（外食チェーン）
- 「有料レジ袋の価格設定と手探りのオペレーション変更対応をしました」（アパレル）

■ 大手各社の価格と対応

コンビニエンスストア	種類・価格					その他対応・施策
セブンイレブン	小/S	中/M	大/L	弁当用	特大/LL	
	3円				5円	
スーパーマーケット	種類・価格					その他対応・施策
イオン	食品用（Lサイズ）	雑貨ポリ袋M	衣料専用・衣料雑貨LL・雑貨専用LL・特大			紙袋を一律10円で販売
	3円	2円	5円			
飲食店	素材・種類					その他対応・施策
マクドナルド	バイオマス25%配合レジ袋・紙袋					牛丼持ち帰りに適した オリジナルエコバックを販売
すき家	バイオマス25%配合レジ袋					
サーティワン アイスクリーム	厚み50μ以上のレジ袋					オリジナルエコバックを販売
ミスタードーナツ	全種類 3円					一部商品を除き、プラスチックストロー を紙ストローへ切り替え
ドラッグストア	素材・種類					その他対応・施策
ツルハドラッグ	SS・特小	S・小	M・中	L・大・LL	3L・特大～	
		2円	2円	4円	9円	
アパレル （ファストファッション）	素材・種類					その他対応・施策
しまむら	バイオマス25%配合レジ袋					店舗で配布した袋を1枚1円で買い取り、 リサイクル

出典：株式会社シモジマ，独自調査を元に筆者にて作成，2020年7月6日

プラスチックから紙製に完全移行へ 青山商事株式会社

- 855店舗においてポリ袋と紙袋を無料で提供してきた。
- 7月1日、ビジネスウェア事業の全店において、買い物袋の**有料化**を開始。
- 大きさを問わずポリ袋は10円、紙袋は20円(税別)。
- ポリ袋は生産中止。在庫が無くなり次第取扱を終了。
- 買い物袋を**紙袋に完全移行**することで、プラスチック使用量を**年間約89トン削減**へ。
- 環境保全に配慮した製品の証である「**FSC認証**(森林認証)」を受けた紙袋へ順次変更。
- 提供する買い物袋は**有料化の対象外**だが、深刻な環境課題に対して**企業として配慮する取り組みを推進**する観点から有料化に踏み切った。



出典：青山商事株式会社，記事を筆者にて編集，2020年7月2日
画像：<https://blog.uktsc.com/shizuoka/210126?app=app>

プラスチックを廃止し有料紙製に 株式会社丸井グループ

- 6月1日より、ショッピングバッグを無料プラスチック製から有料の紙製に切り替えた。
- 紙製ショッピングバッグは、100%リサイクル紙かつ**FSC認証**を受けた素材を使用。
- これまでも「まるい食遊館」会計レーン（生鮮品・グロスリー専用会計所）におけるレジ袋の有料化を実施するなどの取り組みを行ってきた。
- さらなる環境負荷低減につなげていくため、これからも、「マイバッグをご利用いただく文化」の醸成に**取り組み、廃棄プラスチックの課題解決**をめざしていく。



責任ある森林管理
のマーク

出典：株式会社丸井グループ，記事を筆者にて編集，2020年3月31日
画像：https://www.0101maruigroup.co.jp/pdf/settlement/20_0331/20_0331_1.pdf

不要なレジ袋を社内外で減らす取り組み 株式会社ローソン

- 店舗スタッフの声かけや店内放送、ポスターの掲示、自治体で行っている「レジ袋削減キャンペーン」に参加するなど様々な活動を行って、レジ袋削減や適正なサイズのレジ袋の使用などを推進している。
- レジ袋を削減するために、購入頻度の高いお弁当とペットボトルがぴったり収まるサイズのケータイバッグ「**コンビニecoバッグ**」を**2007年から無償配布**。その後、店頭マルチメディア端末「Loppi（ロッピー）」での販売、さらに**バッグの仕様を公開**して賛同企業を募り、**社外での普及も進めてきた**。



マイバッグの販売収益を全額寄付 株式会社京王百貨店

- プラスチック製のみならず紙製まで有料化することで、さらなるマイバッグ利用促進と買物袋の使用量削減を目指していく。
- これまでも顧客の要望に応じた簡易包装やオリジナルマイバッグの販売など、包装資材削減の推進を行ってきた。
- 「食品用レジ袋」4種を、2019年7月に業界では先行してバイオマスプラスチック配合30%に切り替えた。
- 紙袋の有料化は、**マイバッグを使おうという顧客の気持ちを後押ししたい**と考えた事からの取り組みである。
- 2006年より**オリジナルマイバッグを製作、販売**しており、2020年3月までに累計約3万枚を販売。その収益を日本山岳会「高尾の森づくりの会」に**全額寄付**している。



出典：株式会社ローソン，記事を筆者にて編集，2020年3月31日

画像：<https://www.lawson.co.jp/company/activity/environment/preservation/resource/>

出典：株式会社京王百貨店，記事を筆者にて編集，2020年6月11日

画像：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000055181.html>

独自で企業と協定を結ぶ自治体 兵庫県三田市

- 事業者・市民団体との間で作る「市レジ袋ゼロ推進懇話会」の活動を2008年から進めている。
- 2008年12月～2018年12月までに合計13事業者と**レジ袋削減に向けた協定**を結んだ。
- 協定は地球温暖化防止と次世代によりよい地球環境を引き継ぐ事を目指す「ごみの減量化・資源化」の取り組みとして、**三者がそれぞれの役割をもって共同してレジ袋の削減に取り組む事を目的**としている。

レジ袋削減協定締結事業者一覧（抜粋）

事業者名	店舗名	協定締結時期	取組内容	実施日	レジ袋削減率 目標値
イオンリテール(株)	イオン三田ウッディタウン店	2008年12月	無料配布中止	2009年3月	80%
生活協同組合 コープこうべ	コープこうべ三田西店	2008年12月	無料配布中止	2009年3月	90%
ウエルシア(株)	ウエルシアフラワータウン店・ 三田天神店・三田ウッディタウン店	2009年9月	無料配布中止	2009年10月 2018年11月	60%
(株)万代	万代三田店	2017年8月	無料配布中止	2017年9月	80%
(株)ドン・キホーテ	ドン・キホーテ三田店	2018年12月	無料配布中止	2018年11月	60%

出典：兵庫県三田市，HP記事を筆者にて編集，2018年12月

プラスチック製レジ袋の提供禁止 京都府亀岡市

- 2020年3月、議会において「**亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例案**」が可決された。
- これまで「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」をはじめ、使い捨てプラスチック製レジ袋の有料化や民間事業者との協定締結、啓発活動などを行ってきた。
- 紙袋や生分解性袋も無償配布は禁止となり、2021年6月1日からは、市の立ち入り調査や是正勧告に従わない**違反事業者名を公表すること**としている。

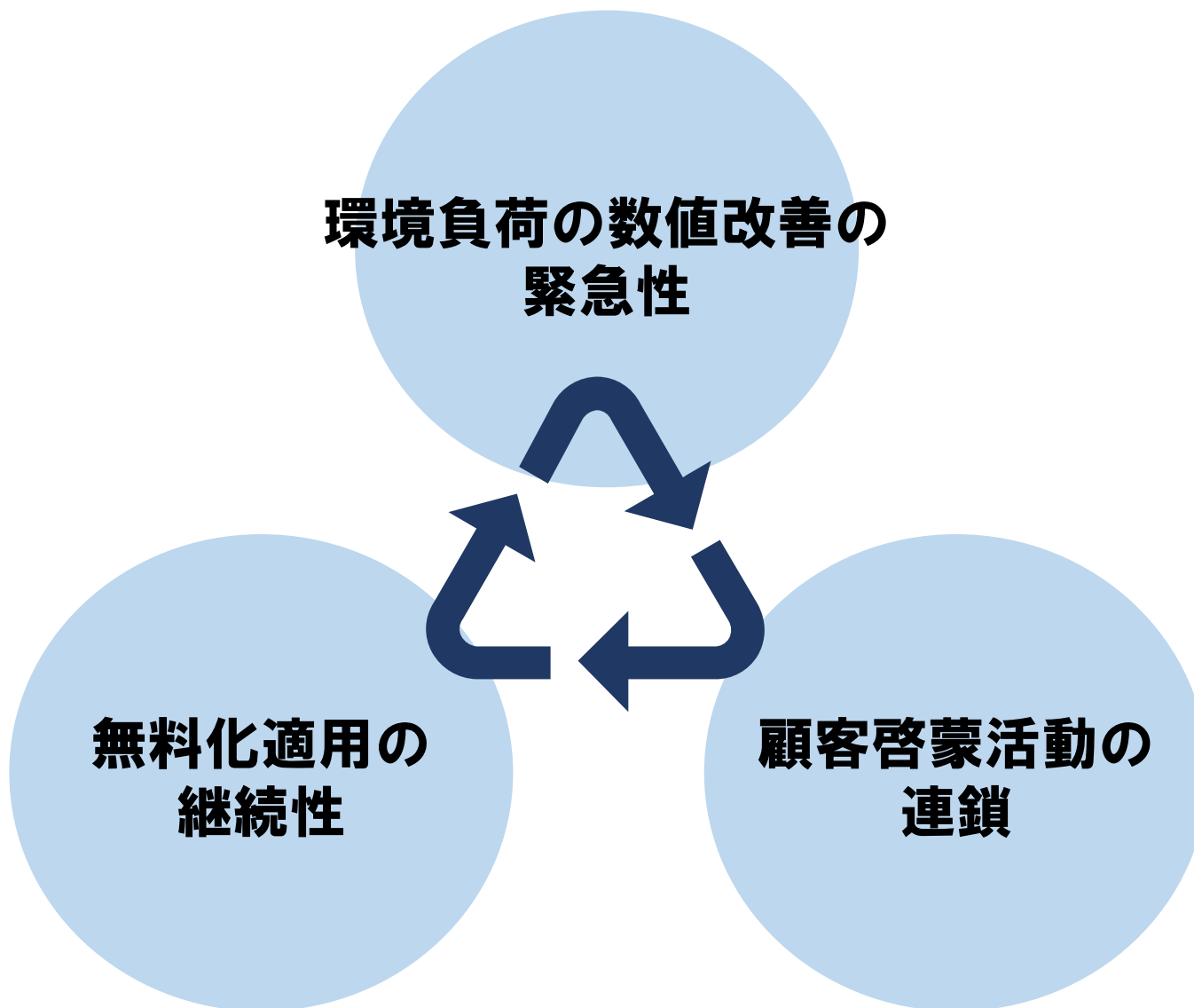
ともに生きる



プラごみゼロ

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」ロゴマーク

出典：京都府亀岡市，HP記事を筆者にて編集，2020年3月31日
画像：<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/kankyousoumu/kurashi/puragomi.html>



■ 各国・地域のレジ袋規制と使い捨てプラスチック削減に関する計画

EU	2015年、加盟国に2025年末までに1人当たりレジ袋年間消費量を40枚以下とするよう義務付け。 2018年末までに小売店でのレジ袋無料配布を禁止を義務づけ（超軽量ビニール袋は免除）。 2018年、一般利用されている10品目の使い捨てプラスチック製品の流通を2021年から禁止する法案を可決	台湾	2002年より政府機関、私立学校、百貨店、量販店、スーパー、コンビニ、ファストフードなど7分野でレジ袋の使用を段階的に制限。2018年に、対象範囲を小規模な小売店などを含めた14分野に拡大。2030年までにビニール袋、容器、飲料カップなどの使い捨てのプラスチック製品撤廃をめざす
英国	2011年ウェールズ、2013年北アイルランド、2014年スコットランドで、プラスチック袋が有料化され、 2015年イングランドで、従業員250人以上の小売業者を対象に有料化。2020年3月より英国政府はプラスチック製のストロー、マドラー、綿棒を禁止に	韓国	2003年より、33平方メートル以上の店舗でのレジ袋の無料配布を禁止（B4サイズ未満は除外）。2019年より大型のショッピングモールやスーパーマーケットで使い捨てプラスチック袋の使用を禁止。2030年までに販売における使い捨てプラスチック袋の全面禁止をめざす
ドイツ	小売連盟が2016年より、加盟小売店にレジ袋有料化を義務付け。2021年から使い捨てプラスチック製のカトラリー、皿、マドラー、ポリスチレン製カップなどが禁止に	米国	カリフォルニア州で、2015年より大型の日用雑貨店や薬局でレジ袋の配布禁止、2016年からコンビニエンスストアや酒店に適用。ニューヨーク州は2020年3月から小売店や食料品店などで使い捨てプラスチック製レジ袋の使用を禁止（コロナ対策のため6月15日まで強制措置はなし）
フランス	2016年より、厚さ0.05mm未満、容量10リットル未満のレジ袋の提供禁止（バイオマス原料の生分解性プラを含む）。2017年から、肉や魚など生鮮食品用の包装は家庭で堆肥化できるバイオマス原料のもの以外は禁止に。2020年1月より、使い捨てプラスチックの食器類や容器等が禁止に。2040年に使い捨てプラスチックの市場への投入禁止を目指す	カナダ	2019年、使い捨てプラスチックの2021年までの段階的禁止を発表
イタリア	1989年よりレジ袋を課税。2011年より小売店での生分解性以外のプラスチック製レジ袋の配布を禁止。2018年、スーパーマーケットや青果店での生分解性軽量プラスチック袋について消費者に課税	オーストラリア	2018年、2州を除く全州でレジ袋が使用禁止に。レジ袋を提供した大手
中国	2008年、小売店を対象に無料のプラスチック袋配布を禁止し、超薄型のプラスチック袋の生産も禁止。 2020年1月、2025年までの使い捨てプラスチック製品の生産・販売・利用の段階的制限と禁止の計画を発表し、2020年末までに主要都市での非分解性の袋の使用禁止、2022年までにすべての市と町での禁止を決定		



私たちが貴社の
廃棄物対策課になります。

企業や店舗の廃棄物管理代行で、コストや環境負荷を適正化します。

▶ 廃棄物マネジメント事業

情報提供から実行支援まで

SDGs・ESGの企業対応を
支援しています。

- ✓ 何から取組み始めればいいのかわからない
- ✓ 経営層や社員への浸透に悩んでいる
- ✓ SDGs・ESG投資に関する社内セミナーや社員研修を行いたい

無料！

お問い合わせ／お見積もり

お急ぎの方はお電話で

☎ 03-5542-5300

受付時間 9:00～19:30

参照・引用資料

- 株式会社クロス・マーケティング, 「全国20歳～69歳の男女を対象としたアンケート調査」, 2020年7月9日 (<https://newscast.jp/news/010380>)
- 株式会社シモジマ, 「レジ袋有料化情報第3回」, 2020年6月12日 (<https://shimojima.jp/staffblog/blog/b-plasticnofree00003/>)
- 流通ニュース, 「青山商事／7月1日「レジ袋有料化」プラから紙製に変更」, 2020年6月29日, (<https://www.ryutsuu.biz/strategy/m062925>)
- 流通ニュース, 「丸井／6月1日ショッピングバッグを有料化」, 2020年3月31日, (<https://www.ryutsuu.biz/strategy/m033124>)
- 株式会社ローソン, 「レジ袋・割り箸の削減での取り組み」, (<https://www.lawson.co.jp/company/activity/environment/preservation/resource/>)
- PRTIMES, 「プラスチックも、紙も～2020年7月1日（水）から買物袋を有料化します」, 2020年6月11日, (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000055181/>)
- 兵庫県三田市HP, 「マイバッグ・レジ袋削減」, (<https://www.city.sanda.lg.jp/jigyousha/kankyou/mybag/index>)
- 京都府亀岡市HP, 「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」, (<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/kankyousoumu/jyourei1.html>)
- GREENPEACE, 「周回遅れのレジ袋有料化、規制の国際比較」, 2020年6月20日, (<https://www.greenpeace.org/japan/nature/press-release/2020/06/25/16855/>)

サステナブルレポートに関するお問い合わせ先：



REPORT 編集部 ☎ 03-5542-5300 ✉ info@sfinter.com

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

Satisfactory



<https://www.sfinter.com/report/>